

<速報>

* 7月1日、米海軍の宴会域戦闘艦とフィリピンのフリゲート艦がイスラム過激派への対処などを目的にフィリピン南西のスルー海で同号哨戒活動を実施した。

* 7月2日(日本)、容共都議会議員選挙(定数127)が実施され、「都民ファーストの会」が49議席(無所属併せて55議席)を獲得し第1党に躍進、自民党は57議席から23議席に激減した。共産党は17議席から19議席に増加。民進党は7議席から5議席に後退した。

* 7月2日、米国FOXニュースが米国国防当局者の話として、米海軍艦船が中国が実効支配する南シナ海の西沙sん穂等のトリトン島から12カイリ内を航行したと報じた。中国の軍事拠点化に対抗する「航行の自由作戦」と見られる。

* 7月2日、シリアの首都ダマスカスで当局が追跡していた3台の車両が学は津市、少なくとも19人が死亡し、多数が負傷した。

* 7月2日、イラク西部アンバル州の国内避難民キャンプで自爆テロが発生し、女性や子どもを含む14人が死亡した。「イスラム国」系列のアマク通信が犯行声明を出した。

* 7月3日、ドイツの最大与党1キリスト教民主同盟(CDU)と姉妹政党のキリスト教社会同盟(CSU)が9月24日の総選挙に向けた共通の公約を発表、CSUが求めていた難民受け入れの上限規制についてはCDU党首を務めるメルケル首相が押し返す形で見送られた。

* 7月3日、米国国防総省がソマリアで米軍部時間2日にアルカイダ系の「アルシャバブ」に対する空爆を実施したと発表した。

* 7月4日、シリアで「イスラム国」の掃討作戦を進める有志連合はクルド人を中心とする「シリア民主軍(SDF)」が3日に北部ラッカの旧市街に突入したと発表した。

* 7月4日、北朝鮮が同日保全9時40分頃に大陸間弾道ミサイル(ICBM)「火星14」の発射に成功したと発表した。高度は2800キロに達し、射的距離は6600キロに達すると見られる。日本の排他的経済水域(EEZ)に落下した模様。

* 7月4日、スペインのカタルーニャ自治州の連立政権が10月1日に行われる住民投票で賛成票が上回った場合、48時間以内に独立を宣言すると表明した。

* 7月4日、アフガニスタンの南部ゲルマンド州当局が州都ラシュカルガの西方ナワ地区で行った掃討作戦で「タリバン」の兵士62人を殺害し、40人を負傷させたと発表した。

* 7月4日、ミャンマー西部ラカイン州の州都シットウェーで少数派のイスラム教徒ロヒンギャの7人が100人ほどの仏教徒に集団に襲われ、1人が死亡、6人が重傷を負った。

* 7月5日、マクロン・フランス大統領がパレスチナ自治政府のアッバス議長とパリで会談し、イスラエルとパレスチナの和平交渉について双方が共存する「2国家共存」を指示することで一致した。

* 7月5日、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、バーレーン、エジプトの4か国がカイロで外相会議を開き、カタールとの断交と交易停止の継続を確認した。

* 7月5日、ベネズエラの首都カラカスで鉄棒などで武装した与党支持者約200人が議会を襲撃し、議員や議会職員を暴行した。

* 7月7日、トランプ大統領がG20首脳会議の合間にメキシコのペニャニエト大統領と会談し、NAFTAの再交渉、「壁の建設」問題、麻薬密輸、不法移民問題等について話し合った。

* 7月7日、エジプトのシナイ半島北部ラファ郊外で爆弾を積んだ車両2両が軍の検問所で自爆し、兵士26人が死亡し、33人が負傷した。武装勢力は車両による自爆攻撃後、銃撃や携帯式ロケット弾で攻撃し、軍が反撃した。軍は戦闘員40人を殺害したと発表した。

* 7月7日、ドイツのハンブルグで開催中のD20首脳会議の合間に安倍首相が習近平・中国国家主席と会談し、安倍は中国が主導している「一带一路」に協力する立場を伝えた。

* 7月7日、ドイツのハンブルグで開催中のG20首脳会議の合間に、トランプ大統領がロシアのプーチン大統領と会談した。シリア紛争をめぐり、同国西部での「停戦」で合意した。

* 7月7日、ドイツ・ハンブルグで開催中のG20首脳会議がテロ対策に関する首脳声明を発表した。声明では、税関など水際対策での協力のほか、テロの資金源を断つための情報交換を進化させるとした。

* 7月8日、G20首脳会議が首脳宣言を採択して終了した。宣言には、米国以外の19か国が結束して地球温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」に取り組むことが明記された。

* 7月8日、ベネズエラで2014年に反政府デモを先導したとして禁固13年9ヶ月の刑で収監されていた野党指導者レオポルド・ロペス（46）が自宅監禁にうつされた

* 7月9日（日本）、新宿駅前で「安倍1強」に反対するデモが行われ、約8000人が参加した。早稲田大学では「安保関連法に反対する学者の会」主催で反対集会が開催され650人が参加した。愛知、大阪、和歌山、愛媛、福岡でも同時開催される。

* 7月9日、イラクのアバディ首相が「イスラム国」が最大拠点としてきた北部モスルに入り、自身のツイッターで「モスルの解放を宣言し、イラク軍及びイラク国民の勝利を祝うためモスルに到着した」との声明を出した。同日、首相府は声明を出し、勝利宣言を行う。

* 7月9日正午、シリア南西部で米国とロシア、ヨルダンが設置で合意した「安全地帯」での停戦が発効した。

* 7月9日、トルコの最大都市イスタンブールで野党第1党の協和人民党（CHP）が主導してエルドアン政権に抗議する集会が開催され、同政権の強権姿勢に反発する約17万人が参加した。

* 7月10日、シリア内戦の終結を目指す国連仲介の和平協議がジュネーブで再開された。協議は5月以来で、アサド政権と反体制派の代表団が今後の統治体制や新憲法の起草について、国連側とそれぞれ個別に話し合った。

* 7月10日、米国のティラーソン国務長官が訪問先のクウェートでサバハ首長と会談した。協議の内容は不明だが、クウェートはサウジアラビアなど4ヶ国がカタールと断交している問題で仲介役を務めており、関係修復の調停案や妥協案を話し合ったと見られる。

* 7月10日、エクアドルが隣国ペルーとの国境の一部に壁を建設し始めたことにペルー政府が反発し、大使召還を行った。

* 7月11日、在イギリスのシリア人権監視団が「イスラム国」の最高指導者バグダディ容疑者について、「脂肪を確認した情報がある」ことを明らかにした。監視団の現地活動家が「イスラム国」幹部から得た情報では、潜伏していたシリア東部デリゾール県のイラク国境に近い知己で死亡したという。

* 7月14日、北朝鮮を研究している米国ジョーンズ・ホプキンス大学の研究グループ「38ノース」が昨年9月～今年6月に撮影された北朝鮮・寧辺の核施設で核兵器の原料となるプルトニウムを増産した可能性があるとして公表した。

* 7月14日、ベネズエラの反政府勢力がマドゥロ政権が打ち出した「制憲議会」設立方針に関して16日に非公式に「国民投票」を実施するよていであるところ、国連関係者が政府に対して国民投票に参加する権利を保障するよう求める声明を発表した。

* 7月14日、エルサレム旧市街でアラブ系イスラエル人3人がイスラエル警官2人を銃撃して死亡させ、その直後に警官隊によって射殺された。

* 7月15日までにブラジルの労働組合や野党がテメル政権が提案した改悪労働法に強く反発し、20日にテメル大統領の辞任を掲げた全国的な抗議行動を実施すると発表した。

* 7月15日、中国の4直轄市の一つである重慶市トップを務めた孫政才・共産党同市委員会書記（53）が解任され、身柄を拘束された。「重大な規律違反」で党中央規律検査委員会の調査を受けている模様。

* 7月16日付けフランス地方紙とのインタビューでユロ環境相が電力供給に占める原子力発電の割合を2025年までに50%にする目標を実現するために、明確な工程表を定める必要があるとの考えを示した。

* 7月16日、イランの司法当局がロハに大統領の弟で、大統領特別補佐官のホセイン・フェレイドウン氏を逮捕したと発表した。

* 7月16日、フランスのマクロン大統領がイスラエルのネタニヤフ首相と会談し、イスラエルとパレスチナが共存する形で中東和平を実現する「2国家解決」に向け、教義に応じるよう要請した。

* 7月16日、ポーランドの右派政党「法と正義」が多数派を握る議会で進んでいる司法の独立を奪う「司法改革」に抗議するデモがワルシャワで行われ、約1万人が参加した。

* 7月16日、米誌『ワシントン・ポスト』とABCテレビが共同で実施した世論調査結果を公表した。トランプ大統領の支持率は36%に低下、就任半年の時点では過去70年を遡って歴代大統領で「最低」の支持率となった。

* 7月16日、ベネズエラでマドゥロ政権の「制憲議会」法h心をめぐる反政府勢力の非公式「国民投票」が実施され、投票した約750万人のうち710万人以上が新憲法制定に反対したと発表された。

* 7月17日、米国通称代表部がNAFTAの再交渉の目標を公表し、貿易赤字の縮小を最

優先する方針を示した。

* 7月18日、米軍制服組ナンバー2のセルバ統合参謀本部副議長が上院軍事委員会公聴会で証言し、北朝鮮が7月4日に発射した大陸間弾道ミサイル（ICBM）について、「明らかに米国土の一部に届く」と発言、北朝鮮がICBMに相当する能力を持っていることを認めた。

* 7月18日、トランプ政権がイランの弾道ミサイル開発に関わったとして、同国などの計18の企業や個人を新たに制裁の対象に加えると発表した。